

しろがね特別支援学校版

新型コロナウイルス感染症に関する学校生活ガイドライン

「しろ特ライン」



R3.8.30 改訂

登校前・登校時
学校生活
給食・食事
休校等の基準

登校前・登校時



毎朝の検温



時差登校



はなれて歩く

- ☐ 毎朝、家庭・学園で検温する。オレンジファイルに記入する
- ☐ 37.0℃以上は家庭・学園で休養する。※ 出席停止扱いとする
- ☐ 体温が37.0℃未満でも、鼻水、咳、咽頭痛などの風邪症状がある場合は、家庭・学園で休養する。※ 出席停止扱いとする
- ☐ 同居の家族に風邪症状等がみられる場合は登校しない。※ 出席停止扱いとする
- ☐ 校舎玄関先に非接触型体温計で検温をする。
- ☐ 登校時にはマスクを持参・着用する（不織布等、より効果の高いといわれているマスクが推奨されています。）。気温・湿度や暑さ指数が高いときは外す。マスクを置く際の清潔なビニール袋等を用意する。
- ☐ マスクがないときは、先生に伝える。
- ☐ 予備の「緊急用マスク」をカバン等に入れておく。
- ☐ 健康観察記録表（オレンジファイル）を担当に提出する。
- ☐ こまめな水分補給のために、必要に応じて飲み物を持参する。
- ☐ 登校時は時間をずらす。友達や先生と、できるだけ1メートル以上はなれて登校する。
- ☐ 各学部とも玄関を入った所定の場所で、手指の消毒をする。

学校生活



手洗い



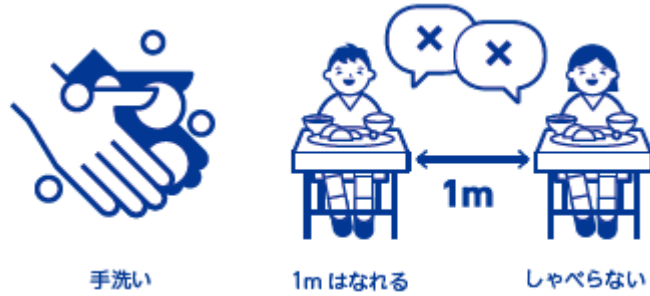
マスク



換気

- ☐ 登校後すぐと昼食後（昼食がない場合は下校前）に検温をする。
- ☐ 手洗いは、水道を、一人ずつ使い、30秒程度水と石けんで行う。自分のハンカチで拭く。清潔なハンカチを使用する。
- ☐ 室内では身体的距離が十分とれない場合にはマスクを着用する。気温・湿度や暑さ指数が高い日にはマスクを外す。
- ☐ 活動場所は換気のため、対角線上の2か所以上の窓を常にかける。
- ☐ 休み時間には、出入口のドアを開放する。
- ☐ こまめな水分補給をする。友達と向かい合わないようにする。
- ☐ 大きな声で話さない。
- ☐ 手洗いの6つのタイミング。①外から教室に入るとき。②咳やくしゃみ、鼻をかんだとき。③給食の前後。④掃除の後。⑤トイレの後。⑥共有の物を触ったとき。

給食・食事



- ☐ 食事の前には、全員が手洗い、手指の消毒をする。
- ☐ 使用する机・テーブルの消毒をする。
- ☐ 給食の配膳は教職員が行う。
- ☐ 食事をする際には、飛沫飛散防止対策を行い、座席の間隔は1メートルを目安として、できるだけ空ける。
- ☐ 会話を控える。

※ 食事はマスクを外すことから、近距離で会話をする状況は、特に感染リスクが高い。

休校等の基準



-
- ☐ 児童生徒が感染者・濃厚接触者となった場合は、学校に連絡する。
 - ☐ 児童生徒が感染者となった場合は、治癒するまで出席停止扱いとする。
 - ☐ 児童生徒が濃厚接触者となった場合には、最後に濃厚接触した日の翌日から2週間を出席停止とする。
 - ☐ 児童生徒等や教職員の感染が確認された場合、保健所による濃厚接触者の範囲の特定等に協力する。
 - ☐ 学校の全部または一部の臨時休業を行う必要があるかどうかについては、保健所の調査や学校医の助言等を踏まえて検討し、教育委員会が判断する。